



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

テン
テン
テン
テン
テン
セ
サ
タ
シ

「8月6日 大東七夕祭り」

2007



No.34

市

Public Relations

報

んなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市

- 2-3 成人式
- 4-7 雲南ニユース ほか
- 8 わが家のホープ
- 9 こげなことしとーます 研究所うんなん
- 10-13 ふるさとウオッチング
- 14-15 変わります！国保と老人保健
- 16 人権センター「定例公開講座」について
- 17 私たちのまち 雲南市まちづくり基本条例 シリーズ⑥
- 18-28 雲南市からのお知らせ



平成19年度

雲南市成人式

8月14日、三刀屋文化体育館アスパルで平成19年度雲南市成人式が行われ、新成人の新たな門出を祝いました。



式典ではまず、速水雄一市長が式辞を述べ、新成人を祝福しました。式辞の中で市長は、総合計画に挙げているふるさと雲南の5つの恵みや、それらを活用した本市の振興戦略「雲南ブランド化プロジェクト」の取り組みを紹介。同プロジェクトのキーワードである「幸運なんです。雲南です。」の言葉どおり「魅力溢れるふるさとに誇りと愛着をもち、若い力や創造力を今後の雲南市のまちづくりに注いでほしい」と激励しました。

これを受け、新成人を代表して周藤司さんがあいさつ。名実ともに成人となると決意を表し、誓いの言葉としました。

式典終了後、映画「うん、何？」の錦織良成監督が講演。都会に憧れを抱きがちに



な若者を前に、「自然や文化・伝統、人々の絆などが残る雲南市は豊かである。同時に、これこそ真の豊かさであり、守り、受け継いでいかなければならない本物の魅力」と雲南にする思いを語り、「みなさんも市内を駆け回り、ふるさとの輝きを再発見してほしい」と将来を担う新成人に温かな笑顔でメッセージを送りました。

新成人代表誓いのことば



これから成人として生きていくにあたり、心の中に秘めていることがあります。それは、自分の考えや意見をしっかりと持ち生活することです。

今までは、他の人の考えや意見に流されてきた部分もあり、それでも周囲の人の支えがあり、ここまで成長してきましたが、これからは我々が「独立自尊」の精神のもと、自分の考えや意見をはっきりと主張し行動していかなければ、一人の大人として厳しい社会の中で居場所を見つけることは困難であると考えます。

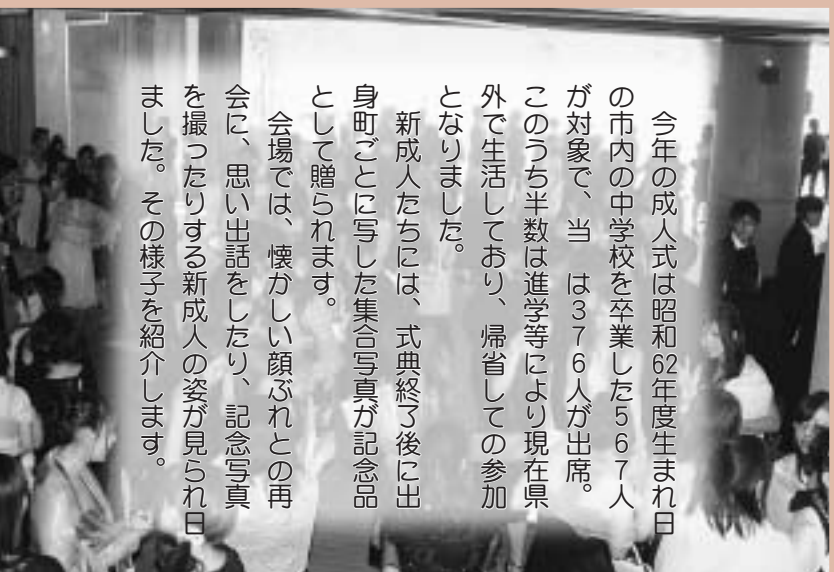
そのために「学ぶことを知る」ことも大切なことと考え、自分を謙虚に見つめ直し、書物、学校の先生、会社の先輩、親友から色々なことを学び、自分の考えをしっかりと持った人間になりたいと思います。

今まで大切に育ててくれた家族や心にかけてくださった方に感謝し、多くの恩師、諸先輩に教えて頂いた事を教訓として生かし、自分の意思、夢で作り上げたレールの上をしっかりと歩いて、社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

(一部抜粋)

平成19年8月14日

新成人代表に 周藤 司



今年の成人式は昭和62年度生まれの市内の中学校を卒業した567人が対象で、当 日は376人が出席。このうち半数は進学等により現在県外で生活しており、帰省しての参加となりました。

新成人たちには、式典終了後に出身町ごとに写した集合写真が記念品として贈られます。

会場では、懐かしい顔ぶれとの再会に、思い出話をしたり、記念写真を撮ったりする新成人の姿が見られました。その様子を紹介します。



祝 成人



雲南ブランド化プロジェクト

ラッピングバス運 開始

雲南ブランド化プロジェクトの取り組みを市民の皆さんにPRするため、広域路線バスに雲南レッドを基調とし、資車の中央部にキャッチフレーズとな資る「幸運なんです。雲南です。」の口資ゴをあしらったラッピングが施されま資した（ラッピングバス）。資

7月21日、市民バス駐車場（大東総合センター付近）で行われたラッピングバス出発式には、市の関係者や夏休みに「ふるさと雲南キヨロキヨロ探検バスポート」（通称・キヨロバス）を資利用する大東中学校生徒など約100人が資参加しました。

雲南市を代表してあいさつした土江教育長は、初運行のバスに乗る喜びを資「まさに資幸運なんです。雲南です。」と表現し、乗客の皆さんを歓迎しま資した。中学生に対しては「夏休みは、学資校で学んだことを実際に見たり、感じたりすることのできる大切な期間です。資



キヨロバスを利用し、たくさんの場所へ出かけ、歴史や自然など市内の様々な魅力を発見してください」と話しま資した。

鮮やかに彩られたラッピングバスは、資約20人の乗客を乗せ、9時30分、吉田資町に向け出発していきました。資

合言葉は「生涯健康」

運営委で基本方針「教育・評価・研究」を決定

7月23日、身体教育医学研究所うんなん運営委員会が開催され、基本方針や今後の取り組みなどが話し合われま資した。

同委員会は「生涯健康でいきいきと資生活できる小児期からの健康づくりの資推進」を基本理念に平成27年4月に設資立された「身体教育医学研究所うんなん（以下、「研究所」）の運営方針や資実践活動計画の審議及びその評価を行資います。

今年度1回目となったこの日は、資年度の事業や決算、太極拳リズム体操リーフレット発行などの報告に続いて、資基本方針や当面の取り組みなどを審議、資委員からは「地域運動指導員の研修を資続けてほしい」、「研究所の認知度が低く、一部の人にしか伝わっていない」、資「事業の評価という点について、『地域資の評価』を含めたものにしてはどうか？」資などの意見が出されました。研究所の資役割や機能をより具体的に示す「教育・資評価・研究」の基本方針も決定されま資した。

この基本方針に基づく研究所の活動資が広く市民に定着し、健康づくりが推資進されることを期待します。資



出席者による太極拳リズム体操

雲南ニュース

県内各地で全国高等学校総合文化祭しまね07が開催され、8月1日、2日の2日間、雲南市では「日本音楽部門」が行われました。

県内7校（資名）の生徒で構成された島根合同の演奏曲「まほら※」が大会の最初を飾り、各県代表校のレベルの高い演奏が繰り広げられました。

会場を訪れた観客の一人は「素晴らしい演奏に鳥肌がたつた」と感動を口にしていま資した。

「まほら」とは「素晴らしい場所を意味する古語資」



島根合同の演奏

リッチモンドサマースクール

今年も雲南市青少年海外視察等派遣事業として、アメリカ・リッチモンド市に資日間の日程で滞在するリッチモンドサマースクールの7人の中学生が旅立ちました。

出発前の8月2日に行われた壮行式で、団員を代表して細田はるかさんが「現地で資の様々な活動を通じて日本で学べないことを資を吸収したい」とあいさつ。資

8月7日から資日までのリッチモンド市でのホームステイを通じて、団員らは異文化の理解、英語の表現力や理解力を深めま資す。



リッチモンドサマースクール派遣団員

後列左から永井博崇さん（掛合中2年）、後山裕さん（掛合中3年）、川口ノビルさん（大東中2年）、狩野梨沙さん（大東中3年）、前列左から榎晴菜さん（大東中3年）、原恵里奈さん（大東中3年）、細田はるかさん（大東中3年）

雲南市長の「コラム」

雲南ブランド化プロジェクトが進められていま資す。雲南市ならではの地域資源に気付き、それらを活かしたまちづくりを進め、そうした雲南市に住むことを幸せと思えるようにとの願いを込めた「幸運なんです。雲南です。」の言葉も、赤いポスターや2台の広域路線バスの車体などあちこちで見られるようになりました。

8月の初めには、このプロジェクトの一環として、雲南市の公共施設の有効利用を図ることを目的として、20数名の早稲田大学の学生さんが約2週間滞在されました。滞在初日の夜、加茂町の女性有志の皆さんによる手作り料理での夕食会が催されました。正真正銘の地元産の食材と美味しさに大学生の皆さんは心底感激され、こんな幸せを体感出来ることこそ「幸運なんです。雲南です。」資そのものとも言ってくださいました。

また、下旬には一橋大学の数人の学生の皆さんが資幸運さがしに5日資間滞在され、発表もいただきました。こうした外からの意見、指摘はブランド化プロジェクトの推進にとって必須条件と思資います。



成人式にて（8月14日）

さわやかな笑顔とあいさつで歓迎 全国高等学校総合文化祭しまね07



「の上水道竣工水



協議会の武田会長

山田配水池

7月16日、大東町北部水道未普及地域解消事業により、念願の上水道施設が完成した山田地区の竣工式が行われました。チ

山田上水道施設整備促進協議会の武田田伸二会長が、「鶴余りの世帯が井戸水を使う自給の生活で水不足に困る状況

況だったが、これからは安心して生活できる」とあいさつ。チ

来賓であいさつした内田副市長は、「安心、安全の上水道を1日も早く全世帯に引き込んでほしい」と地区住民に呼びかけました。操

家庭内への引き込みを済ませた住民は、「水の勢いが全然違う。お風呂が早くたまるようになったし、洗濯も早い。何より安心」と上水道の効果を実感されているようでした。チ

衛生的な水と安定した水量が確保され、当地域の生活基盤の安定化が図られたことは大変喜ばしいことです。チ



ビジネスチャンスの創出に

第1回雲南市企業間交流会 開催

8月8日、雲南市産業振興センター主催による第1回雲南市企業間交流会が開催され、企業の代表や行政関係者が意見交換などを行いました。チ

当市の産業創出プロデューサー三木善弘氏（島根三洋電機株式会社）が開催を提案し、同センターが行う企業間ネットワーキング事業への参加企業約40社のうち「ものづくり」企業が出席。溝口善兵衛島根県知事による講演会・意見交換会が催されたほか、会場となったホシザキ電機株式会社の工場見学や交流会の今後について運営協議も行われました。

溝口知事は、島根県の産業振興について、現状や今後の展望及び県が推進する施策などの概要を説明。企業誘致のための工業団地造成、産品PRのための都市部へのアンテナショップ設置、県内の工業製品や農産物などの販路拡大に向けた取り組みなどを紹介しました。チ

これに対し企業側からはたくさん意見や提案が出されました。県外から進出した企業の代表者は、「島根県への対応にはスピード感がない」と弱点を指摘し、「結果にとらわれず、まず実践すること」と対応・支援の即行性を求めました。一方で「県民は非常にオープンで、仕事も熱心である」と地



雲南ニュース

8月5日、島根県消防操法大会が益田市で開催され、県内各地から出場した備前（ポンプ車班）、小型ポンプ（ポンプ班）が、猛暑の中、訓練の成果を競いました。チ

雲南市消防団からは小型ポンプの部に大東チ

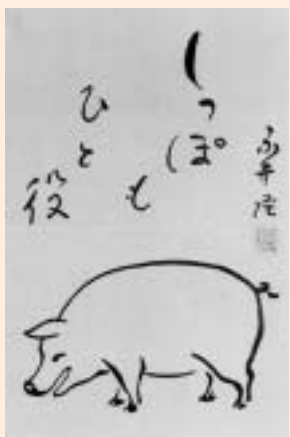


大東方面隊佐世分団

方面隊佐世分団、木次方面隊温泉分団、チ掛合方面隊多根分団が出席し、大東方面隊佐世分団が4位入賞を果たしました。チ



第1回 島根県消防操法大会



「平和を」の都市宣言のまじ

永井隆博士生誕100年 シリーズ⑥

今年、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久操平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。

ブタのしっぽは小さいけれど、なかつたらおかしいですね。何の役にも立っていないように見えるしっぽでもなくてはならないものです。

博士は、「人間誰もがきつと何かの役に立っている」ことを伝えたくたのではないのでしょうか。

永井隆記念館 ☎0854-45-2200

8月8日、平和を訴えて走る「反核平和の火リレー」のランナーが市役所を訪れ、影山副市長に平和な社会の実現に向けてのメッセージを手渡ししました。これをうけ、影山副市長は、ランナーの労をねぎらうとともに「『平和を』の都市宣言にふさわしい取り組みを推進する」とあいさつ。



ケーブルテレビの体操の
放送時間が変わりました！



9:20~9:30



14:50~15:00

市民の皆様のご健康づくり支援のひとつとして、平日の午前と午後それぞれ1回ずつ、ケーブルテレビでストレッチと筋力トレーニングの体操

身体教育医学研究所うんなん
雲南市三刀屋町三刀屋12123
☎08544510300
(三刀屋健康福祉センター隣)

こげなことしとーます



このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

を放送しています。
どちらの体操も毎日みなさんに元気がよ過ぎてもらうために必要な運動機能の維持・向上に役立つ体操です。
このたび、放送時間の変更にもとない、2つの体操を新しく撮り直し、内容も少し変更しました。自宅や職場で安全かつ簡単に行うことができますので、ぜひご覧になり、一緒に行ってみてください！
地域の健康教室でもこの体操を活用していますので、ご要望などございましたら、ご連絡ください。

【自分で感じる症状】
憂うつ、気分が重い、悲しい、気分が沈む、イライラする、元気がない、集中力がない、好きなこともやりたくない、細かいことが気になる、大事なことを先送りする、物事を悪いほうへ考える、眠れない
【周りからみてわかる症状】
表情が暗い、涙もろい、反応が遅い、落ち着きがない、飲酒量が増える

毎年9月10日は、世界自殺予防デーです。警察庁統計資料によれば、平成10年以降、自殺者数は3万人を超えており、交通死亡事故で亡くなる人よりも多いという状況です。自殺者の7割は男性で、自殺の背景には「うつ病」があると言われていました。
ここに、自殺を予防するためのうつ病のサインを載せます。これらのサインを発見したら、悩みを聞いてあげたり、専門機関への受診につなげるなど、対策をとりましょう。

★9月末で、個別基本健診が終了します。また予約されていない方は、早めに予約し、受診しましょう。基本健診についてのお問い合わせは、健康推進課へお願いします。
健康推進課
☎08544011045

こんにちは、
保健師
です。
30

あなたのこころ、
疲れていませんか？



【身体に出る症状】
食欲がない、便秘がち、身体がだるい、疲れやすい、性欲がない、頭痛、動悸、胃の不快感、めまい、喉が乾く
次に、うつの自己チェックを試みましょう。

- 毎日の生活に充実感がない
- これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
- 以前は楽にできていたことが、最近はおっくうに感じられる
- 自分が役にたつ人間だと思えない
- わけもなく疲れたように感じる

これらのうち、2つ以上あてはまれば、その状態が2週間以上続いていて、生活に支障が出ている場合、うつの可能性を考えてみてください。こころも体も健康でありたいですね。



9月で**満1歳**
おめでとう

わが家の **HOP**
ホープ



あやみ 彩水ちゃん (加茂町宇治)
平成18年9月2日生まれ
お誕生日おめでとう！いつも笑顔でかわいい彩ちゃん♡これからも笑顔をやさげ元気に大きくなってね♡



いちか 一花ちゃん (掛合町掛合)
平成18年9月3日生まれ
お誕生日おめでとう☆もうすぐ「あんよ」できるね。お兄ちゃん達といっしょに遊びに行こう♪



きょうか 喬香ちゃん (三刀屋町乙加宮)
平成18年9月4日生まれ
笑顔のカワイイ喬香ちゃん 素直で優しく大きくなーれ!!



ひより 日和ちゃん (三刀屋町下熊谷)
平成18年9月14日生まれ
1才のお誕生日おめでとう!! 元気でのびのび大きく育ってね。



まお 真央ちゃん (大東町下佐世)
平成18年9月23日生まれ
☆真央ちゃんお誕生日おめでとう☆ いっぱい食べていっぱい遊んで元気に育ってね♡



かなで 奏ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成18年9月3日生まれ
よく食べて元気いっぱい奏君。これからもステキな笑顔でみんなをメロメロにしてくね。



こうき 晃生ちゃん (三刀屋町給下)
平成18年9月11日生まれ
晃生くん、誕生日おめでとう！姉ちゃんと仲良く、ワイワイにぎやかにしようね!!

10月で**満1歳** (平成18年10月生まれ) **になるお子さんを募集!**

写真に下記の内容を添え、郵便またはE-mailで**9月5日(水)**までに情報政策課へお送りください。

①お子さんの名前(ふりがな) ②お子さんの誕生日
③ご両親の名前 ④住所 ⑤コメント(40字程度)

【問】 情報政策課 ☎0854-40-1015
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
E-mail: jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。



7月14日

元村長さんから ふるさとの歴史を学ぶ

吉田地区の小学校4、5年生が通学合宿の最終日、ふるさとの歴史を勉強しました。

当初、町内を歩きながらふるさと研究を行う予定でしたが、この日はあいにくの雨。屋内での講義に変わりました。講師の元村長の堀江眞さんは、古くは江戸時代にさかのぼっての話や合併のこと、吉田公園の成り立ちなどを紹介。

昭和52年、吉田小学校が火事で焼失した際、子どもたちのために一日も早く学校を再開しようと村民が一丸となって再建に取り組んだ話に、子どもたちは熱心に耳を傾けながら、生まれる前の町の様子を想像していました。



7月18日

花を飾って明るいまちに

三 刀屋小学校の児童が花で町を飾ろうと町内の施設に学校で育てた花の苗を配りました。

同校児童らは、毎年夏休み前の下校時に、三刀屋保育所や、三刀屋総合センターなどに立ち寄り、きれいな花を咲かせてほしいとポットに入れた苗やプランターに植えた苗をプレゼントします。

来春、小学校に入学する三刀屋保育所の年長組の子どもらは、小学生のお兄さん、お姉さんからポットに入った花苗をひとつずつ受け取ると、大きな声で「大切に育てます」とお礼を言っていました。

花を渡した児童は「緊張したけど、喜んでもらえてよかった」と安心して話してくれました。



7月27日

まちづくり役場で 夏休み体験教室

大 東町のまちづくり役場で親子のふれあいや地域との交流の場にと小中学生を対象に夏休み体験教室が開催されました。

まちづくり役場を拠点に活動する親木遊楽部（郷原政義代表）と丸子山陶芸教室（白根廣久代表）が、それぞれおやこ木工教室、おやこ陶芸教室を企画しました。

このうち、陶芸教室には13組の親子が参加。初めて体験する人が多く、慣れない手つきながら一生懸命取り組む人、またうまくできず手伝ってもらう人とさまざまでしたが、親子で楽しい時間を過ごしていました。



木工教室



陶芸教室



8月5日

環境美化活動の一環 どっちが高く積めるかな？

第3回雲南市空き缶積み上げ大会が開催され、参加した小学生15チームが空き缶の積み上げの高さを競いました。



この大会は「環境美化活動を実践している」ことが参加の条件となっており、選手代表の深野神楽こども教室の草光千里さんは「日ごろから神楽と同じくらい環境美化活動に励んでいる。今日はおろちと一緒に最後まであきらめずに戦い抜く」と力強く選手宣誓。

8月5日

心和む水琴窟の茶席

道の駅掛合の里の水琴窟に茶席が設けられ、訪れる人たちにその音色とともにお茶が振る舞われました。

この催しは道路ふれあい月間にあわせて毎年行われている掛合の夏の風物詩で、道の駅掛合の里を愛する会「おあしす54」が主催。地元公民館活動で茶道を習っている小学生も参加し、国道54号を通行中に休憩に立ち寄る観光客らを茶席に案内しては、お茶を振る舞っていました。



市の女性は「涼やかな風が吹く中、水琴窟の音を聞きながらの茶席はとても心が和んだ」と思いがけないのもてなしにっこり。暑い日にひとときの涼を満喫した様子でした。

8月5日

行ったことないところツアー第2弾

雲 南市内行ったことないところツアーが行われ、市民など34人が参加しました。

このツアーは雲南市をもっと知ろうと、市内の名所や観光スポットを巡る日帰りツアーとして大東町のまちづくりグループ「だいつう未来塾」が企画したものです。

昨年の秋の吉田町を巡るツアーに続き第2弾となる今回は「水」をテーマに、三刀屋町の雲見の滝や掛合町の八重滝、龍頭が滝、酒蔵資料館などを巡りました。

豊富な水量で流れ落ちる滝は迫力満点。暑い一日でしたが、参加者たちは滝の水しぶきを浴びながら涼しいひとときを過ごしました。



龍頭が滝



雲見の滝の説明を聞く



競技が始まると、子どもたちは床に広がった空き缶を次々と積み上げていきました。積み上げられた缶の高さは3mを超え、脚立の上から火バサミを使って慎重に積み上げる姿も見られました。



8月8~10日

自然の中で集団生活 少年自然塾2007



しながら活動しました。自然の中での集団生活は心と体を鍛える良い経験になりました。

吉 田町地域で子どもを育てる会が主催する「少年自然塾2007」が吉田グリーンシャワーの森で開催されました。今回で20回目となる自然塾には、吉田小学校、民谷分校、田井小学校の6年生の児童21人が参加。2泊3日の短い期間でしたが、テントを張ったり、自炊したりとみんなで協力しながら活動しました。自然の中での集団生活は心と体を鍛える良い経験になりました。



8月6日

430年の歴史 大東七夕祭り



大 東町の夏を彩る七夕祭りが開催されました。午後7時に打ち上げられた花火を合図に七夕行列がスタート。大きな太鼓や鉦の音とともに「テンテコテンノ七夕サン」と威勢の良い掛け声が響き渡る中、提灯や七夕飾りで装飾されたたくさんの山車と短冊をつけた笹竹を持った子どもたちが町内を練り歩き、大勢の参加者でにぎわいました。



8月8日

看護師をめざしています



公 立雲南総合病院で、看護師をめざす高校生が「1日看護体験」をしました。実際の体験を通して、看護に対する理解を深め、進路の参考にもなると、看護師らでつくる「むつみ会」と同病院が、毎年夏休みのこの時期に実施しており、今年は大東高校、三刀屋高校、横田高校の1~3年の生徒21人が参加。白衣に着替え、施設内を見学した生徒たちは、数人ずつに分かれ、指導の看護師から血圧や脈の測り方、足浴などを教わりながら、真剣に実習に取り組んでいました。緊張気味だった生徒たちも徐々に慣れていき、患者さんたちに「体調はいかがですか」などと声をかける姿も見られました。

参加した生徒は「実際にやってみると大変だったが、改めてやりがいのある仕事だと分かった」、「患者さんに喜んでもらったことがうれしかった」などと感想を話していました。同病院の職員は、「今回の体験が地元での医療機関への就職のきっかけになれば」と話していました。

7月31~8月10日

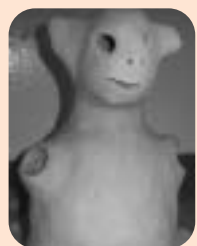
ユース・ワークキャンプ in雲南2007



世 界各国の青少年が集団生活を通じて交流を深めながら、国際感覚を磨き自己能力開発に努める「ユース・ワークキャンプin雲南2007」が木次町湯村の楓之屋で開催されました。1日、受け入れ先の楓之屋振興会の主催により、同地区伝習館で歓迎会が行われ、斉藤文隆振興会会長が、「人々の温かさや里山の自然にあふれた環境の中で、青春を謳歌してほしい」とあいさつ。地域の食材を用いた食事が振る舞われ、参加者らはおいしそうな料理を囲み、夜が更けるまで談笑しました。7日には、地元の高齢者ら20人ほどと一緒に七夕祭りが行われ、各々が願い事を書いた短冊を笹に飾ったり、団子作りに挑戦したりと楽しいひと時を過ごしていました。今回のキャンプには、日本、フランス、アメリカ、韓国などが参加。期間中、野菜の収穫・出荷などの農作業体験や市内史跡めぐり、神楽などの民族芸能鑑賞など、様々な活動を行いました。

8月4日

クレイアート(埴輪)づくり



旧 加茂幼稚園でクレイアートづくりが行われました。市内外からおおよそ20人が参加。思い思いに土を丸めたり、のびたりして、30点ほどのクレイアートができあがりました。今回の作品は、10月18日に火入れを行い、10月21日に開催される「銅鐸の響き加茂弥生まつり」で展示されます。焼き上がりから楽しみです！

8月14日

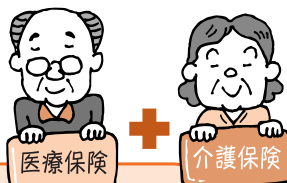
八重滝まつり



掛 合町入間の八重滝で八重滝まつりが開かれました。安全祈願が行われた会場の八重滝駐車場には、地元住民らによる出店や綿菓子作りコーナーも設けられ、祭りに訪れた子どもたちのにぎやかな声に包まれていました。8つの滝の最も奥、二段構えで落下する八沙滝(上段)、八塩滝(下段)の下では、水遊びする親子連れの姿も見られました。

高額医療・高額介護合算制度が創設されます

医療費が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合、医療保険と介護保険のそれぞれの自己負担限度額を適用後に、両方の年間の自己負担を合算して一定の限度額（年額）を超えた場合は、超えた分が支給される高額医療・高額介護合算制度が創設されます



平成20年4月1日から

医療費の自己負担額と介護保険サービスの利用料が合算できるようになります（**高額医療・高額介護合算制度**）。それぞれの限度額を適用後、年間の自己負担を合算して高額になったときは限度額（年額）を超えた分が「**高額介護合算療養費**」として支給されます。

高額介護合算療養費の自己負担限度額（年額/予定）

	70歳以上 75歳未満	後期高齢者 医療制度		70歳未満
一般	62万円	56万円	一般	67万円
現役並み所得者	67万円	67万円	上位所得者	126万円
低所得者Ⅱ	31万円	31万円	住民税 非課税世帯	34万円
低所得者Ⅰ	19万円	19万円		

退職者医療制度の対象年齢が65歳未満になります

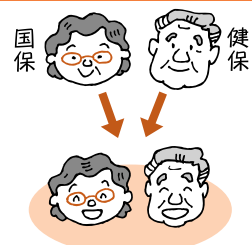
会社などを退職して国保に加入し、被用者年金（厚生年金など）を受けられる75歳未満の人とその被扶養者は退職医療制度で医療を受けますが、平成20年4月からその対象者年齢が65歳未満になります。65歳になりますと、一般の国保の加入者となります。



老人保健制度に代わって、新たに「後期高齢者医療制度」が創設されます

75歳以上の高齢者を対象に、その心身の特性や生活実態などを踏まえて、新たに「後期高齢者医療制度」が創設されることになりました。

老人保健制度では、国保や健保などの医療保険に加入しながら老人保健制度の対象となっていました。後期高齢者医療制度では国保や健保などの医療保険をぬけて、後期高齢者医療制度に新たに加入することとなります。



後期高齢者医療制度

40歳以上75歳未満の人を対象に、特定健診・特定保健指導が始まります！

問い合わせ：市民部市民生活課 TEL (0854-40-1031)

平成20年
4月から

変わります！国保と老人保健

みなさんが安心して医療を受けられるために、国民皆保険が持続できるように医療保険制度の見直しが行われます。ご理解とご協力をお願いします。

平成20年4月からこのように変わります！

70歳以上75歳未満の人（現役並み所得者以外）の自己負担割合が2割になります

70歳以上75歳未満の人がお医者さんにかかったときの自己負担割合は、原則1割、現役並み所得者3割となっていました。現役並み所得者以外については2割に引き上げられます。現役並み所得者は3割で変わりません。



70歳以上75歳未満の人（一般）の自己負担限度額が引き上げられます

医療費が高額になったときに支払う自己負担には限度額が設けられていますが、自己負担割合の変更に伴い70歳以上75歳未満の人（一般）の自己負担限度額が引き上げられます。自己負担限度額は下記のとおりとなります。



療養病床入院時の「食費・居住費」負担の対象年齢が65歳以上になります

70歳以上と老人保健制度で医療を受ける人が療養病床に入院するとき、食費と居住費を自己負担しますが、その対象年齢が65歳以上になります。



人権教育のすすめ



まずは「お互いを知る」ことから
はじめませんか

会場：雲南市人権センター 先着：25名

無料

「性同一性障害」「ハンセン病」「ホームレス」「障害者」「子ども」「女性」をテーマにそれぞれ専門知識をもった講師を迎え、人権問題について正面から向き合い、話し合います。全6回シリーズ。地域の指導者や会社・事業所などの研修担当者の方にはぜひ、受講いただきたい講座です。

	日 時	テーマ・講師
第1回	9月14日 (金) 19:00 ~ 21:00	「性同一性障害とはなんですか？」 性同一性障害を知る会代表 上田地優さん
第2回	10月26日 (金) 19:00 ~ 21:00	「ハンセン病回復者に対する人権問題を考える」 島根県藤楓協会理事 上田政子さん
第3回	11月16日 (金) 19:00 ~ 21:00	「ホームレスの問題は社会みんなの問題です」 (財)西成労働福祉センター 住田一郎さん
第4回	12月14日 (金) 19:00 ~ 21:00	「『障害者を生きる』ということ」 大阪市立大学大学院博士課程 秋風千恵さん
第5回	1月25日 (金) 19:00 ~ 21:00	「子どもの人権問題を考える」 島根県浜田児童相談所課長 山本尚樹さん
第6回	2月22日 (金) 19:00 ~ 21:00	「女性の人権問題を考える」 島根県女性相談センター 前田祐治さん

■申し込み・問い合わせ

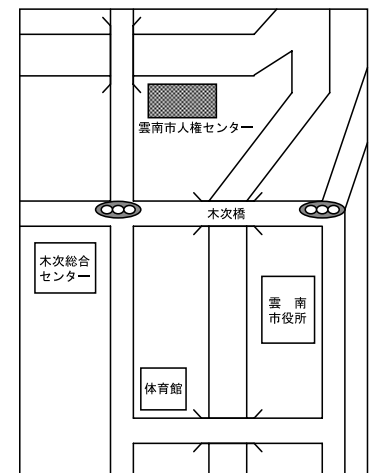
- ①受講したい講座の開催日②〒住所
- ③名前(ふりがな)④連絡先(電話番号・FAX番号)
- ⑤受講動機を人権センターまでご連絡ください。

定員になり次第締め切ります。

ご連絡いただいた個人情報講座目的以外には使用いたしません。

〒699-1334 雲南市木次町新市3
雲南市人権センター

e-mail: jinkensuishin@city.unnan.shimane.jp
TEL 0854-42-1767 FAX 0854-42-1839



シリーズ⑥ 私たちのまち 雲南市のまちづくり基本条例

雲南市では、市民参加や行政運営のルールなどの基本的事項を定める条例を制定することにしました。基本条例の内容については、市民の皆さん12人による「まちづくり推進懇話会議」で検討されており、その状況についてお知らせします。今回は、第6回まちづくり推進懇話会議での検討状況をお知らせします。

7月11日、6回目となるまちづくり推進懇話会議が開催され、前回に引き続き、条例の体系のイメージを確認しながら、意見交換が行われました。

まちづくりの担い手として、市民・議会・行政の3つを基本とすることで良いか？ 事業者についてはどういう位置づけになるか？

・事業者については、現段階では、市民の中も含んで考えることでしょうか。

・大枠としては、市民・議会・行政の3つが良いが、市民から生まれた条例にするためには、市民の部分を持たしつかりと議論する必要がある。

前回の意見交換で、それぞれのまちづくりへのイメージが違っていた。この条例に盛り込むまちづくりとは？

- ・市民・議会・行政という担い手が、それぞれの立場は違っても、これだけ一緒に考えようということを理念(前文)に盛り込む。
- ・前文は「生を全うできる社会の構築」や「まちづくりの基本は住民自治」ということに、集約されると思う。
- ・雲南市にしかできないまちづくりを盛り込む必要があると思う。例えば、総合計画の基本理念である「神話」や、雲南市にしかない地域資源・土地・風土などを、次世代へ継承していくことなど。

「市民とはどういった定義をする必要があるか？」

・市民というのは、個人、自然人である。
・雲南市に住民票がある人という考え方が基本ではないか。

・市外の人だから、雲南市のまちづくりに参加しなくて良いということにはならず、市外の人にも参加して、だいたいということになると思うので、住民票があるのではないかと、雲南市に目を向けている人、目を向けて欲しい人のことである。

・この基本条例は、規制をかけるものではなく、みんなと一緒にやろうという前向きなものであり、あなたは含まれませんよということにはしてはけない。

まちづくりをすすめるため、それぞれの担い手は、どういった役割・意識を持つ必要があるのか？

「市民」
「まず、自らができることは、

自ら取り組む」、その次に「自らのことができたら、

周りを見る」、それでもできたら「自らのことを含めたみんなのことをやってみる」という意識が必要である。

「行政」

・市民へ「駄目なものは、駄目」と言える強い立場も必要である。
・市民活動の調整役でもあり、市民の視点で行政運営に努める。
・小さい声にこそ光をあてる、意見を吸い上げる仕組みが必要である。

会議の内容は「市報うんなん」や「市ホームページ」で随時お知らせすることとしておりますので、基本条例やまちづくりに関し、自由なご意見をお聞かせください。

なお、会議は公開しておりますので、ご覧になりたい方は、事前にご連絡ください。

政策企画部政策推進課

☎0854・40・1011

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

雲南市からのお知らせ

おめでとうございます

人権擁護委員法務大臣感謝状
鏑木 篤さん（加茂町）

人権擁護委員の紹介
雲南市人権センター
☎0854-42-1767

委員の退任に伴い、次の方が国から新たに人権擁護委員として委嘱されました。
田中 久隆さん（加茂町）

雲南市戦没者追悼式

健康福祉総務課
☎0854-40-1041
先の大戦において、亡くなられた方々を追悼するとともに、永遠の平和の決意を新たにすため戦没者追悼式を執り行います。
【日時】
10月2日（火）
午後2時～3時

【場所】
加茂文化ホール・ラメール
【主催】
雲南市
雲南市社会福祉協議会

【問い合わせ】
健康福祉総務課 または
雲南市社会福祉協議会
☎0854-42-9888

雲南市重度障害者等介護手当額を改定

長寿障害福祉課
☎0854-40-1042
雲南市では、重度障害がある方を在宅で介護している方に対して手当を支給しています。この手当は所得税非課税世帯を対象に、被介護者1人につき月額5,000円を支給していましたが、この度、所得課税世帯も支給対象とし、手当額をそれぞれ次のように改定しました。

世帯区分	月額
所得税非課税世帯	5,000円
所得税非課税世帯	6,000円

◆支給対象者
日常生活に介護が必要な重度障害者（身体障害者手帳1、2級または療育手帳A所持者が次の全ての条件をみたし、かつその方を在宅で常時直接

年金時効特例法

市民生活課
☎0854-40-1031
年金記録が訂正されたことにより年金が増額された場合、これまでは、時効消滅により、直近の5年間の年金に限りて支払われていました。このたび、「年金時効特例法」により、時効消滅により受け取ることが出来なかった分も全期間さかのぼって支払われることになりました。
●対象となる方は次のとおり
既に年金記録が訂正されている方

(1)年金記録の訂正により年金が増えたが、従来、過去の増額分については時効消滅により直近の5年間の年金に限りて支払を受けていた方
〔高齢・障害・遺族年金の時効消滅分が全期間さかのぼって支払われます。〕
(2)年金記録の訂正により年金の受給資格が確認され、新たに年金を受給することとなったが、従来、過去の分については時効消滅により直近の5年分の年金に限りて支払いを受けていた方
〔高齢・障害・遺族年金の時効消滅分が全期間さかのぼって支払われます。〕

て支払われます。〕
(3)(1)や(2)に該当する方が亡くなられている場合には、そのご遺族の方
〔未支給年金の時効消滅分が支払われます。〕
※ご遺族の範囲は、お亡くなりになった当時、その方と生計を同じくされていた方に限り、配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹の順になります。
今後年金記録を訂正される方
(4)今後年金記録が訂正され、従来であれば前述の(1)～(3)と同じように、過去の分は直近5年間の年金に限りて支払われることになる方
〔増額された高齢・障害・遺族年金や未支給年金が支払われます。〕
●必要な手続きは次のとおり
今後年金記録を訂正される方
記録訂正の手続き以外に特別の手続きは必要ありません。年金記録の訂正に合わせて自動的に手続きを行い、5年を経過した分の年金額も支払われます。
既に年金を受給開始し、その後、年金記録が訂正されている受給者の方
●できる限り簡単に手続きをしていただけるよう、あらかじめ必要な記載事項を印字し



介護する方
①雲南市に住所を有する
②継続して3ヶ月以上入院していない
③介護保険の対象とならない
④生活保護法に定める被保護世帯ではない

◆申請について
申請は、最寄りの健康福祉センターまたは長寿障害福祉課まで。

みんなで「8020」をめざしましょー！

健康推進課
☎0854-40-1046
ハチマルニマル「8020（運動）」は80歳で20本の自分の歯を保とうというものです。
雲南市では、市内在住の満20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢になられる方を対象に「歯周疾患検診」を実施しています。
実施期間は9月29日（土）まで、料金は無料です。

今月の税金
国民健康保険料（第6期分）
納期限は10月1日（月）

木次健康福祉センター
※相談を希望される方は、出雲児童相談所（☎0853-21-0007）または、健康推進課へお申し込みください。
（受付は午後3時まで）
吉田ふるさとセンター
●定期巡回児童相談
9月27日（木）
午前10時～午後4時

雲南地区巡回女性相談と定期巡回児童相談
健康推進課
☎0854-40-1046

次のとおり巡回相談を行います。相談は無料ですのでお気軽にご利用ください。
●巡回女性相談
9月7日（金）
午前10時～午後3時

歯の健康は、体の健康につながります。この機会に是非受診しましょう。
なお、対象の方へは既に個別通知をしています。まだ受診されていない方はお早めに。

「みんなが主役 省エネでつくる環境のまち」実践にご協力ください～その⑭～

市民部環境対策課 ☎0854-40-1033

★エコ・クッキング 環境に気をつけながら料理をすることを「エコ・クッキング」といいます。

例えば、野菜の下ごしらえに電子レンジを活用すると・・・

年間で12.8kg CO₂削減!!
(電気代約1,020円の節約)

※ブロッコリー、カボチャ等100gの食材を、1Lの水（27℃程度）に入れ沸騰させて煮る場合と、電子レンジで下ごしらえをした場合の比較（食材の量等により異なります）。

このように、環境にも家計にもやさしいエコ・クッキングを実践してみませんか？
ちょっとしたアイデアでできる地球温暖化防止活動にみんなで取り組みましょう。



た用紙が順次発送されます（平成19年9月～）。
●今すぐに手続きをしていただくこともできます。お近くの社会保険事務所に必要な書類を提出（又は郵送）してください。
※郵送手続きをされる際に必要となる用紙は、下記のお問い合わせ先からお取り寄せいただくか、社会保険庁ホームページからプリントアウトしてください。
※手続きから支払いまでの期間は2～3ヶ月程度です。支

払いの前に審査結果・振込等のお知らせが送付されます。
【問い合わせ】
手続き方法など、詳しくはお問い合わせください。
●松江社会保険事務所
☎0852-26-2800
●出雲社会保険事務所
☎0853-24-0044
●ねんきんダイヤル
☎0570-05-1165
社会保険庁ホームページ（http://www.sia.go.jp）でも詳しい制度内容をご案内しております。

広告枠

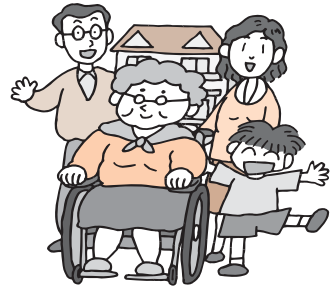
広告枠

表2 介護保険分の計算方法（40歳以上65歳未満の方が該当）

項目	料率	保険料の計算方法	
① 所得割額	1.18%	賦課基準総所得金額×1.18%	
② 資産割額	7.26%	固定資産税額×7.26%	
③ 均等割額	6,040円	被保険者数×6,040円	但し、所得基準により7割、5割、2割減額があります。
④ 平等割額	3,970円	3,970円	

なお、算定した税額が9万円を超える場合は、9万円（賦課限度額）となります。

軽減額及び限度額オーバー額の減額前の基礎賦課総額は、8,330万円であり、この45%を所得割額、10%を資産割額、30%を被保険者均等割額、15%を世帯別平等割額と



保険料は国保事業を支える大切な財源です。保険料は必ず納期内に納めましょう。

8月以降、この料率で決定した一年間の保険料額から仮算定額（4月から7月までの保険料）を差し引いた金額を残りの8ヶ月で割った料金を来年3月まで毎月納めていただきます。

8月1日以降の保険料支払額について

して、計算した結果が上記の表2のとおりそれぞれの料率です。

平成19年度
国保保険料を決定

市民生活課

☎0854-4011031

7月12日の国保運営協議会審議を経て、平成19年度の料率を決定しました。

国民健康保険料とは

雲南市国民健康保険に加入している人に賦課される料金で、医療費及び介護納付金の支払いに使われます。1年間にかかる医療費を予測し、そこから被保険者が病院で支払う一部負担金や国からの補助金等を差し引いた額が、国民健康保険料の総額となります。

雲南市では毎年8月1日をもって本算定日として、この総額を、条例で定める①所得割額（45%）、②資産割額（10%）、③被保険者均等割額（30%）、④世帯別平等割額（15%）の四つの項目でそれぞれ計算し、料率を決定します。この決定にあたっては、毎年7月中旬に雲南市国民健康保険運営協議会の審議により答申受け決定します。

この決定した料率で、次の表1、表2の計算を行い、①④を合算したものが一世帯

当りの保険料額となります。（但し、介護保険分は40歳以上65歳未満の方のみです。）

今年度の保険料はどう決まったのか

医療分の保険料

①まず、今年度の雲南市の一般被保険者の医療費がいくらかになるのかを過去の実績から国の示す方法等を用いて推計額を出します。今年度は前年度実績に比べ1.3%の伸びで16億947万円を雲南市が負担する医療費であると推計しました。

②次に、この推計した額に雲南市の老人保健への拠出金（但し退職分に係る拠出金を除く）5億894万円を足します。合計は21億1,841万円です。これが雲南市の負担する一般被保険者に係る医療費の見込総額となります。③この見込総額から国、県の補助金（総額の約50%）見込10億7,464万円と軽減額分等として雲南市の一般会計から繰出しできるルール分の見込1億6,413万円、さらに、昨年度の療養費の国の補助金不足分や繰越金、基金繰入金等6,831万円を引きますと、残りが8億1,133

表1 医療保険分の計算方法（国民健康保険に加入している方が該当）

項目	料率	保険料の計算方法	
① 所得割額	8.07%	賦課基準総所得金額×8.07%	
② 資産割額	30.89%	固定資産税額×30.89%	
③ 均等割額	22,820円	被保険者数×22,820円	但し、所得基準により7割、5割、2割減額があります。
④ 平等割額	21,790円	一世帯21,790円	

なお、算定した保険料が56万円を超える場合は、56万円（賦課限度額）となります。※昨年度は53万円でしたが、今年度から制度改正で56万円に変わりました。

3万円となります。これに調整率を掛けた最終総額8億4,514万円を19年度保険料の徴収額としています。この総額の軽減額及び限度額オーバー額の減額前の基礎賦課

額は、10億830万円です。この額の45%を所得割額、10%を資産割額、30%を被保険者均等割額、15%を世帯別平等割額として、計算した結果が上記の表1のとおり料率です。

※国保の医療分の保険料は、国保の一般被保険者分のみを基に決定する仕組みとなっています。退職被保険者分については、一般被保険者分の決定料率をそのまま使い、医療費と比較した不足分は社会保険診療報酬支払基金から交付金として交付される仕組みとなっています。

介護分の保険料

①介護保険の保険料は医療分と違い、一般被保険者と退職被保険者の両方合わせて計算するようになっていきます。国が示すこの平成19年度の雲南市の支払う介護納付金は、総額が2億163万円と決定されています。

②この総額から、国・県の補助金見込額やルール分の一般会計からの繰入金等見込額を差し引いた残りが6,961万円となります。これに調整率を掛けた最終総額7,327万円を19年度保険料の徴収額としています。この総額の

これから
よろしくお願ひします



掛合町が平成12年度から毎年受け入れている緑のふるさと協力隊。今春、7人目の隊員として着任され、4ヶ月が経った野上恭子さん（福岡県前原市出身）に話を聞きました。

Q. 4ヶ月を過ごした感想は？

あっという間に4ヶ月が過ぎていて、とても驚いています。多くの人に支えられながら活動をさせていただき、本当に感謝しています。



日登牧場で酪農体験

Q. 雲南市民へ一言！

いろんなところで活動していますので、見かけたら声をかけてください。これからもよろしくお願ひします！

Q. 雲南市に来た理由は？

農村文化に直に触れた生活をしてみたいと思い、協力隊に参加しました。神話や神楽などの古い歴史や文化がたくさん残っている出雲地方は、都市出身の私にとってとても魅力的なところなんです。

Q. 今後の抱負は？

これから秋に向けて農作物の収穫やお祭りなどで忙しくなってきましたが、少しでも多くの人と触れ合えるような活動をしていきたいと思っています。

広告枠

広告枠

9月の古紙回収

環境対策課
☎0854-40-1033
ダンボール・雑誌類・新聞紙・紙・広告チラシの古紙回収事業を次のとおり行います。び少量の新聞、雑誌は燃やせるゴミとして出すこと（ゴミの分別表に記載）もできます極が、普段出されるゴミのうち、極ダンボール・雑誌類・新聞紙・び

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	9月16日	大東町体育文化センター、春殖公民館、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世公民館、西阿用個人倉庫、阿用公民館、下久野リサイクルボックス、久野公民館、海潮公民館、須賀リサイクルボックス、塩田公民館
加茂町	9月2日	自治会単位
木次町	9月16日	雲南市役所職員駐車場、斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登公民館、温泉公民館、日登公民館
三刀屋町	9月9日	三刀屋総合センター別館1階（公用車庫）、一宮公民館、飯石公民館、鍋山公民館、中野公民館、根里振興会館

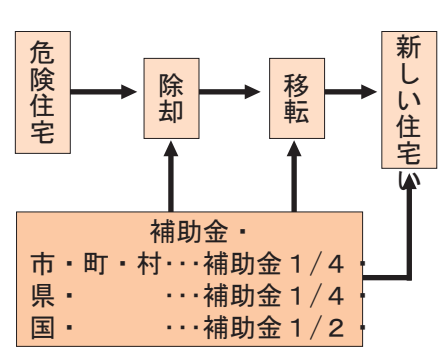
広告チラシはなるべく古紙回収（リサイクル）にまわし、極ゴミの減量化にご協力をお願いします。極
持ち出し日には、公民館の極ご協力により、集積ボックスの鍵を開けていただいております。極
吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。び

【古紙回収の注意事項】8

- ①品目ごと屋紐でくるび
- ②1絡みは極kg以内極
- ③持ち出しは当日のみ極
- ④持ち出し場所は、施設内の決められた集積場所極

がけ地近接等危険住宅移転事業制度について

都市建築課8
☎0854-40-1064
この制度は、がけ地など住民の生命に危険を及ぼす恐れのある場所に建っている住宅を安全な場所に移転するため、極国と地方公共団体が移転者に極危険住宅の除去等に要する経費と新たに建設する住宅（購入含む）に要する経費に対し極て補助金を交付するものです。がけ地、地すべり等で住居の移転をお考えの方は9月28日（金）までに相談ください。極



危険住宅

危険住宅とは、がけ地の崩壊、土石流、なだれ及び地すべりの危険が著しい区域で、極建築基準法の規定に基づき地極方公共団体が条例で指定した極災害危険区域、または建築を制限している区域内にある住宅です。極
屋だし、条例制定（昭和35年極月4日）以前に建築され極た住宅で、条例制定後に増築極がなされていないものに限ら極れます。極



雲南市青少年育成協議会活動団体補助金について

生涯学習課8
☎0854-40-1073
雲南市青少年育成協議会で極は、地域住民の団体等、自主的に実施する青少年育成活動にび要する経費に対し、次のよう極な内容で補助金を交付します。び
①各公民館区域を基本単位とする青少年育成に資する活動8の1事業当りの補助限度額を、び2万円/年額です。ただし、各公民館区域を超えて町内で活動する団体については、必要経費を活動範囲の複数の公民館区域へそれぞれ2万円を極限度として分割して申請でき極るものとします。極
②市内の各町を越えて複数の8町で実施する青少年育成に資8する活動の1事業当り補助限度額を、3万円/年額です。極
申し込みの締め切りは、10月30日です。び
申し込みにあたっては、地区の公民館長の推薦が必要と極なります。極
詳しくは、公民館窓口か雲南市青少年育成協議会事務局（雲南市教育委員会生涯学習課内☎0854-40-1073）極へお問い合わせください。

全国一斉「子どもの人権110番」

雲南市人権センター
☎0854-42-1767
法務省人権擁護局および全極国人権擁護委員連合会では、極子どもをめぐる人権問題に積極的に取り組む東とを目的と極し、東、9月極日（月）から9月極日（日）までの7日間を、極全国一斉強化週間と定め、次極のとおり電話相談を実施しま極す。極

国・県からののお知らせ

【空の日】イベント
国土交通省航空局では次の極とおり「空の日」のイベント極を開催します。び
【日時】 9月28日（日）秋分の日
午前9時から午後4時
【場所】 出雲空港極
【内容】
●管制塔・気象施設見学び
●バスによる飛行場内見学極
●県警ヘリのデモフライト極
●親子航空教室 ほか
【問い合わせ】 大阪航空局出雲空港出張所極
「空の日」実行委員会
☎0853-72-0129

「島根はつばいこーでいねーたー」募集

しまね縁結びボランティア協議会では、結婚を望む独身極男女が出会うきっかけづくり極にボランティアで取り組んで極いたいただける個人・団体を「島根はつばいこーでいねーたー」極として募集します。極

「しまね建築・住宅コンクール」募集

地震対策の提案、事業、製極品など、みなさんのアイディア、プランを募集します！び
近年、全国各地で大地震が極発生しており、いっどこで大極地震が発生してもおかしくな極い状況にあるとの認識が広が極っています。このような状況の極中、地震被害の軽減に効果的極である建築物の耐震化をび国家的な緊急課題とし東強力を推進するため、平成28年1極

【活動内容】 極
●独身男女やその親からの相極談に応じ、結婚を望む男女が極出会うきっかけづくりを行う極
●年数回開催予定の情報交換極会に出席する極
【応募要件】 極
県内にお住まいまたは県内極の企業にお勤めの方で、縁結極び活動ができる方極
【募集期間】 極
9月28日（金）まで極
【問い合わせ】 8
島根県少子化対策推進室
☎0852-24-5302

【応募締め切り】 9月極日（木）極
【募集部門】 8
●設計提案部門び耐震化またびは耐震改修に係る計画・設計および技術提案などび
●耐震事業部門び耐震化またびは耐震改修に係る工事、工法極および製品などび
●防災活動部門び耐震化またびは被災に係る建築物の利用方極法や住民の自主防災活動など極
【応募・問い合わせ】 8
財島根県建築住宅センターび
☎0852-26-4577
http://www.simajyu.jp/

広告枠

広告枠

子育て支援センター などのスケジュール

だいたう	子育てサロン 9:30~	木馬 おおき 毎週火・木曜日 うさぎひろば 幡屋公民館 3日(月) うしお 桂荘 14日(金)
	保育園 開放日	大保 5日、12日、19日、26日(水) かもめ 7日、14日、21日、28日(金) あおぞら 7日、14日、21日、28日(金)
かも	地域サークル 9:30~	幡屋公民館 10日(月)、佐佐公民館 20日(木)、 おおき 21日(金)
	教室・相談 あおぞら	子育て相談 14日(金)、28日(金) 10:00~17:00 子育て教室 6日(木) 9:30~11:30 赤ちゃん教室 11日(火) 9:30~
きすき	子育て サロン 10:00~	つくしっ子広場 かも 毎週水曜日 5日、12日、19日(お月見会)、26日(誕生会) ぶちつくしっ子広場 かもてらす 第2・第4金曜日 14日(耐震教室)、28日(フリースペース)
	支援センター かも 10:00~	おはなしのへや 3日(月) すくすく親子運動教室(3日体操) (要予約) 7日(金) りんごちゃん広場 (0~1才半まで) 10日(月) 子育てママのリフレッシュタイム(要予約) 11日(火) れもんちゃん広場 (1才半以上) 21日(金)
きすき	支援センター きすき 10:00~	えのぐあそび 4日(火) 子育ておしゃべり会~臨床心理士さんを囲んで~ 5日(水) 誕生会 6日(木) おはなし会 11日(火) ミュージックケア(0~1歳対象、要予約) 14日(金) 同級生集いの日 うさぎちゃん 4日(火) りすちゃん 11日(火) ひよこちゃん 18日(火)
	出前保育	西日登公民館 12日(水) 10:00~
きすき	教室・相談	プレママ(妊婦)と子育てママの育児相談 木次健康福祉C 10日(月) 9:30~11:00 受付 ベビーマッサージ きすき 18日(火)
	社協子育て サロン 10:00~	西日登公民館 19日(水) 高齢者コミュニティセンター 26日(水)
みとや	支援センター みとや	プレママ(妊婦)と子育てママの育児相談 三刀屋健康福祉C 7日(金) 10:00~ お楽しみ会(お月見団子を作ろう!) 12日(水) 10:00~ 赤ちゃん広場(ふれあい遊びをしよう!) 21日(金) 10:00~ 親子健康教室(救急法講習会) 28日(金) 10:00~
	保育園 開放日	よしだ・たい 6日(木)、15日(土) 9:30~
かけや	子育て サロン	あいふあくらぶ 吉田健康福祉C 20日(木) 9:30~ お出掛の日(消防署・りんご狩り)
	保育園開放日 夢の子	5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水) 19日は昼食試食会(要予約)
かけや	教室・相談	子育て相談 夢の子 5日(水) 親子運動会 29日(土) 9:00~12:00 ママ&キッズくらぶ 松笠公民館 中旬頃
	子育て サロン	ゴーゴー★サロン 好老センター 6日(木) 9:30~ 秋の遠足<行き先:雲南消防署・ふどう狩り(参加費500円)>(要予約) 20日(木)

大東保育園 ☎43-6132 : 大保、かもめ保育園 ☎43-3010 : かもめ、あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 : あおぞら、地域福祉センターおおき ☎43-5610 : おおき、大東農村改善センター桂荘 ☎43-2414 : 桂荘、加茂子育て支援センター ☎49-6723 : かも、木次町子育て支援センター ☎42-2030 : きすき、社会福祉協議会木次支部 ☎42-9080、社会福祉協議会三刀屋支部 ☎45-3659、三刀屋子育て支援センター(三刀屋健康福祉センター内) ☎45-9501 : みとや、吉田保育所 ☎74-0330 : よしだ、田井保育所 ☎75-0201 : たい、かけや夢の子園 ☎62-9900 : 夢の子 Cはセンター、市外局番はいずれも0854

図書館だより

雲南市立大東図書館 ☎0854-43-6131

9月の休館日 毎週金曜日、17、23、24日(祝)、30日【図書整理日】

イベント案内 こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 午前11時~ わらべうた遊びなど 9月21日(金) 読み語りボランティア研修「高学年への読み語り」

新着の本(抄) ▼松井今朝子「吉原手引草」 ▼吉田修一「悪人」 ▼内田康夫「長野殺人事件」 ▼瀬戸内寂聴「秘花」 ▼椋庭一樹「赤朽葉家の伝説」 ▼長嶋有「夕子ちゃんの近道」 ▼山本一力「銀しやり」 ▼水木しげる「妖怪大戦争」 ▼平岩弓枝「なかなかいい生き方」 ▼島田洋七「かあちゃんに会いたい」 ▼柳田泉「人の痛みを感じる国家」 ▼谷口克弘「検証 本能寺の変」 ▼斎藤英喜「読み替えられた日本神話」 ▼土井たか子ほか「護憲派の一分」 ▼エリック・シュローサー「おいしいハンバーガーのこわい話」 ▼暮らしの手帖編集部「もった食品を知るために」 ▼安部良「病気になるための体をまもるしくみ事典」 ▼桐島かれん「手作りのある暮らし」 ▼富山良雄「おかあさんおもしろい」 ▼構美千代「わくわく野菜料理」 ▼中井俊巳「永井隆 平和を祈り愛に生きた医師」

雲南市立木次図書館 ☎0854-42-1021

9月の休館日 毎週月曜日、18日(火・祝日振替)、23日(祝)、30日【図書整理日】

イベント案内 「よみかたりのじかん」 毎週木曜日 15:30~

新着の本(抄) ▼秋本治 原作 大沢在昌ほか「小説こちら葛飾区亀有公園前派出所」 ▼武谷牧子「テムズのあぶく」 ▼夢枕獯「陰陽師 夜光杯ノ巻」 ▼あさのあつこ「晩夏のプレイボール」 ▼常木逢生「聖夜の暗号(上)(下)」 ▼熊谷達也「真作弥平商伝記」 ▼立松和平「読心術(上)(下)」 ▼唯川恵「一瞬でいい」 ▼東野圭吾「夜明けの街で」 ▼大江健三郎「読む人間」 ▼瀬尾まいこ「ありがたう、さようなら」 ▼和田亮介「船場吹き寄せ」 ▼渡辺淳一「知より情だよ」 ▼藤原正彦ほか「日本人の矜持」 ▼藤原紀香「紀香魂」 ▼宮本延春「オールの落ちこぼれ、教師になる」 ▼清川妙「学んで楽しんで86歳、ころ若く生きる」 ▼池上彰「そうだったのか! 中国」 ▼カイ・バード、マーティン・シャーウィン「オープンハイマー(上)(下)」 ▼黒川倫子「つめたくてあまいお菓子」 ▼奈良信雄「こころからだの新常識」 ▼柳澤美由紀「運用以前のお金の常識」 ▼上野千鶴子「おひとりさまの老後」 ▼上大岡トメ「これでもかーちゃんやっています」 ▼吉沢久子「ていねいな暮らし」 ▼藤井恵「藤井恵の香味野菜レシピ」 ▼梅崎和子「おばあちゃんの手当て食」 ▼小林衛己子「あかちゃんのごきげんがよくなる12のわらべうたえほん」 ▼肥沼雅子「お裁縫のきほん」 ▼関根眞一「『苦情』対応力」 ▼川田龍平「川田龍平のちを語る」 ▼井形慶子「イギリスの夫婦はなぜ手をつなぐのか」 ▼中井俊巳「永井隆 平和を祈り愛に生きた医師」

雲南市立加茂図書館 ☎0854-49-8739

9月の休館日 毎週木曜日、17、23、24日(祝)、30日【図書整理日】

司書がおすすめ! 読み語りにこんな本どうですか?

今回はきょうだい特集。2学期の読み語りにどうぞ。

『ちいさくなったおにいちゃん』
ウィリアム・スタイグ 作 木坂 涼 訳
セーラー出版

錬金術師のお父さんが家を留守にするあいだ、実験室には近寄るなときつく言いつけられているのに、お兄ちゃんは言いつけを破ってそこに入り、自分でつくった薬を飲んで小さくなってしまいました。弟はお兄ちゃんを助けようと一生懸命ですがうまくいきません。はたしてお兄ちゃんは元にもどれるのでしょうか?

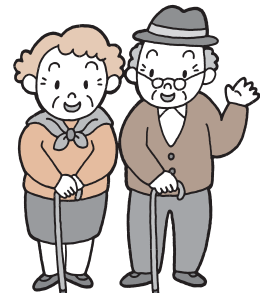
『ほくのかわいくないもうと』
浜田桂子 さく ポプラ社

おしゃべりででしゃばりな妹に振り回されっぱなしのお兄ちゃん。かわいくないけど、気になってしょうがなく、やっぱりかわいい妹。お兄ちゃんの気持ちがよくわかる一冊です。



島根の医療を支えて
いただくお医者さんを
ご紹介ください!

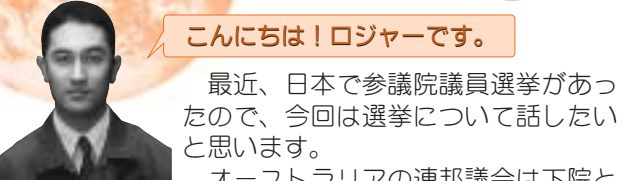
島根県健康福祉部健康推進課
サポート体制の充実した
島根で地域医療を。
ご連絡いただければ、専任スタッフ(医師)が
全国どこへでも後援にうかがいます!
TEL0852-22-6683
FAX0852-22-6040 E-mail:iryu@pref.shimane.lg.jp



健康づくりの「標語」募集
県民のみなさんの健康・生きがいづくりへの意識を高め、実践していくため健康長寿し、まね推進会議では、今年度、次のとおり「標語」を募集します。
【締め切り】
9月28日(金) 必着
【応募・問い合わせ先】
〒690-8501
松江市殿町1番地
島根県健康福祉部健康推進課
☎0852-22-6131

域や産科、精神科など特定診療科での医師不足が深刻化しています。
そこで、あなたの知人、友人やご親戚など島根県内で勤務していただける医師をぜひご紹介ください!
ご紹介いただける場合はご本人の同意を得たうえ医師確保対策室までご連絡ください。
★専任スタッフ(医師)が全国どこへでも出張相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。
島根県健康福祉部医療対策課
☎0852-22-6683
FAX0852-22-6040
E-mail:iryu@pref.shimane.lg.jp

Hello Everyone うん、なんでしよう



こんにちは! ロジャーです。
最近、日本で参議院議員選挙があったので、今回は選挙について話したいと思います。
オーストラリアの連邦議会は下院と上院2院制で、議員は国民が選挙で選びます。首相は直接国民の投票によるのではなく、下院で過半数を有する政党により任命されます。
オーストラリアは独立国家ですが、憲法上は英国女王エリザベス2世が国家元首です。オーストラリアにいる女王の代理として、オーストラリア総督がいます。
上院議員の任期は6年で、通常の総選挙では半数だけが改選されます。下院の任期は、選挙後召集された最初の議会から起算して3年ですが、首相は3年の任期が終了する前に総督に総選挙を要求することができます。
オーストラリアでは連邦と州の選挙があります。18歳以上の全ての国民には投票する権利が与えられてい

ます。オーストラリアの投票率は90%を超え、先進国・民主主義国では最も高い投票率です。
なぜかと言うと、オーストラリアでは投票は義務として強制されています。棄権した場合は小額ですが罰金を払わなければなりません。1924年に義務投票が始まってから90%以上の有権者が投票しています。
ある国は義務投票に反対されると思いますが、オーストラリア人の約70~80%は賛成しています。秘密投票だから本当に投票希望がなければ投票所に出るだけで罰金を避けることができるし、棄権した場合も後日手紙が届いて簡単な理由を返事すれば罰金を避けることもできます。つまり、投票しないことが投票するより面倒なんです。皆さんはどう思われますか?



広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

市民カレンダー



問い合わせ (市外局番は0854)

各種健診に関すること

健康福祉部健康推進課
☎40-1045
大東健康福祉センター
☎43-6142
加茂健康福祉センターかもてらす
☎49-8612
木次健康福祉センター
☎40-1083
三刀屋健康福祉センター
☎45-9501
吉田健康福祉センター
☎74-0215
掛合健康福祉センター/好老センター
☎62-0056
まめなかセンター ☎62-0231
島根県雲南保健所 ☎42-9642

イベント・その他

雲南市議会事務局 ☎40-1004
大東公園市民体育館
☎43-5511
大東農村改善センター『桂荘』
☎43-2414
雲南市加茂文化ホール・ラメール
☎49-8500
加茂B&G海洋センター
☎49-7100
雲南市木次体育館 ☎42-0375
木次経済文化会館チェリヴァホール
☎42-1155
三刀屋文化体育館アスパル
☎45-9222
吉田勤労者体育センター
☎74-0211
吉田公民館 ☎74-0219
吉田町田井公民館 ☎75-0312
雲南市掛合体育館 ☎62-0013
掛合町まめなかセンター
☎62-0231

開催場所

- 大…大東町
- 加…加茂町
- 木…木次町
- 三…三刀屋町
- 吉…吉田町
- 掛…掛合町
- 他…その他

SPコードとは
音声読み上げ用の
2次元コードです。
このコードを専用
装置で読み取るこ
とで、記録されて
いる情報を音声に
変換することができます。



日	月	火
2 加古紙回収	雲南市議会9月定例会開会 (議場 9:30~) 結核検診 (9:00~16:50) ポリオ予防接種 (木次健康福祉センター 受付13:15~) 断酒会 (かもてらす 19:00~21:00)	基本健診 春殖地区 (雲南総合病院 8:30~15:00) 特設人権相談所 (チェリヴァホール 10:00~15:00)
9 永井隆平和賞発表式典 (アスパル 13:00~) 古紙回収	議会一般質問 (議場 9:30~) プレママ(妊婦)と子育てママの 育児相談 (木次健康福祉センター 9:30~) アルコールによる困りごと相談 (島根県雲南保健所 13:00~ 予約制)	議会一般質問 (議場 9:30~) ばくばく離乳食教室 (掛合健康福祉センター 9:00~) 水中ウォーク教室 (三刀屋健康福祉センター 10:00~11:30) 断酒会 (大東地域福祉センターおおぎ 19:00~)
16 古紙回収	敬老の日 断酒会 (木次町下熊谷地域福祉サブセンター 19:00~)	議会教育民生常任委員会 (市役所会議室 9:30~) 結核検診 (8:40~12:10) 特設人権相談所 (木次健康福祉センター 10:00~13:00) 肺がん検診 (田井出張所 13:30~14:00、吉田健康福祉センター 14:30~15:30)
23 秋分の日	振替休日	基本健診 温泉地区 (温泉サブセンター 9:30~) プレママ(妊婦)と子育てママの 育児相談 (加茂健康福祉センター 13:30~) 三刀屋天満宮 秋の例祭

ありがとう
ございます

大東公園市民体育館に絵
画を寄贈していただきまし
た。紹介し、お礼に代えさ
せていただきます。

大東町大東
藤本雄二 様
絵画 『赤いドレス』



作品と藤本さん

シニア就業養成講習会



多岐にわたる農作業依頼に対応できる作業員を養成するた
め、生育管理から出荷調整作業などを講習に盛り込んだ、農
作業補助員講習会を下記の日程で開催します。
日時：9月25日(火)~10月1日(月)(土日を除く5日間) 8時~12時
会場：雲南市内 定員：12名 対象者：60歳以上 受講料：無料
申し込み締め切り：9月14日(金)
問い合わせ：(株)雲南市シルバー人材センター ☎0854-42-3642

水	木	金
サンサン教室 (掛合公民館 9:30~) 基本健診 春殖・塩田地区 (雲南総合病院 8:30~10:30) ヘルスアップ教室開講式 (三刀屋健康福祉センター 14:00~16:00) まちづくり講座 in掛合 (掛合総合センター 19:00~)	特設人権相談所 (ラメール第2会議室 9:00~12:00) 乳児健診 大東・加茂地区 (大東健康福祉センター 4か月児 13:00 ~、10か月児 13:45~) 断酒会 (吉田ふるさとセンター 19:00~)	胃がん検診 波多地区 (波多公民館 8:20~9:00) 結核検診 (9:00~16:40) プレママ(妊婦)と子育てママの 育児相談 (三刀屋健康福祉センター 10:00~) 巡回女性相談 (吉田ふるさとセンター 10:00~15:00) 特設人権相談所 (ふるさとセンター 10:00~15:00)
議会一般質問 (議場 9:30~) サンサン教室 (波多公民館 9:30~) 特設人権相談所 (地域福祉センター 10:00~15:00) こころの健康&もの忘れ相談 (島根県雲南保健所 13:00~15:00 予約制) ポリオ予防接種 (掛合健康福祉センター 受付 14:45~)	議会一般質問 (議場 9:30~) 乳児健診 木次・三刀屋・吉田 ・掛合地区 (木次健康福祉センター 4か月児 13:00 ~、10か月児 13:45~) 高齢者体操教室 (大東健康福祉センター 9:30~10:30)	議会産業建設常任委員会 (市役所会議室 9:30~) 胃がん検診 幡屋地区 (大東健康福祉センター 7:30~10:00) サンサン教室 (入間公民館 9:30~)
議会総務常任委員会 (市役所会議室 9:30~) サンサン教室 (掛合公民館 9:30~) 定期巡回児童相談 (木次健康福祉センター 10:00~16:00) 1歳6か月児・3歳児健診 大 東・加茂地区 (加茂健康福祉センター 1歳6か月児 13:00~、3歳児 14:00~) 断酒会 (掛合まめなかセンター 19:30~)	議会ダム対策特別委員会 (市役所会議室 9:30~) 胃がん検診 (加茂健康福祉センター 7:00~9:30) ポリオ予防接種 (大東健康福祉センター 受付13:15~) 献血 (吉田ふるさとセンター 9:00~11:00、 吉田総合センター 13:00~15:00、Aコ ブよしだ店 15:30~18:00)	議会最終日 (議場 13:30~) 胃がん検診幡屋地区 (大東健康福祉センター 7:30~10:00)
サンサン教室 (波多公民館 9:30~) 基本健診 日登地区 (日登メインセンター 9:00~) 雲南市総合社会福祉大会 (チェリヴァホール 13:30~)	1歳6か月児・3歳児健診 木 次・三刀屋・吉田・掛合地区 (三刀屋健康福祉センター 1歳6か月児 13:00~、3歳児 14:00~) 高齢者体操教室 (大東健康福祉センター 9:30~10:30) 交通事故巡回相談 (出雲市役所 9:00~15:00)	基本健診 西日登地区 (西日登公民館 9:00~) 特設人権相談所 (まめなかセンター 9:00~13:00) サンサン教室 (入間公民館 9:30~) 断酒会 (三刀屋健康福祉センター 19:00~)

秋の全国交通 安全運動



9月21日(金)~30日(日)

土 防災の日 1

8

15

第25回掛合町ふるさとまつり
駅伝2007
出場者募集
日時/10月7日(日) 11:00から開会式
場所/掛合中学校グラウンド周辺
募集締め切り/9月13日(木)(必着)
【問】掛合総合センター 自治振興課内 掛合町ふるさとまつり
実行委員会事務局 ☎0854-62-0300(代)

22

29

雲南市総合社会福祉大会を開催

「市民誰もが自分らしく輝き、支え合う福祉のふるさとづくり」を大会スローガンに平成19年度雲南市総合社会福祉大会を開催します。

【日時】9月26日(水) 13:30~16:30
【会場】木次経済文化会館 チェリヴァホール
【主催】雲南市 雲南市社会福祉協議会 雲南
市民生児童委員協議会 雲南市老人ク
ラブ連合会

【問い合わせ】
健康福祉部健康福祉総務課 ☎0854-40-1041
雲南市社会福祉協議会 ☎0854-42-9888

【日程】
式典 長寿者への祝詞及び記念品贈呈・市社会福祉協
議会会長表彰及び感謝状贈呈ほか
事例報告 「災害時一人も見逃さない運動」(仮称)
雲南市民生児童委員協議会会長 楨原 富徳氏
記念講演 演題 「ふるさと島根と雲南市の魅力」
講師 映画「うん、何?」監督 錦織 良成氏
宣言決議 大会宣言決議
このほか、授産施設の作品等出店を予定しています。

9月・10月は愛と平和の教育推進月間です

雲南市では、9～10月を「雲南市・愛と平和の教育推進月間」としてさまざまなイベントを企画しています。是非この機会に、「愛」と「平和」について見つめなおしてみませんか。ベ

9月	8日(土)～10日(月)	市民サークルによる「愛」と「平和」をテーマとした作品展示 場所 三刀屋文化体育館「アスパル」 [時間] 9:00～17:00 (10日は12時まで) [
	9日(日)	島根県雲南市「永井隆平和賞」発表式典 場所 三刀屋文化体育館「アスパル」 [時間] 13:00～16:30 [内容] ①全国から応募のあった「愛」と「平和」に関する作文・小論文の入賞者表彰及び朗読 [②永井隆博士生誕100年記念講演 [講師:俳優 [加藤剛さん [
	9日(日)～15日(土)	ゆうき賞や賞 結算賞賞短歌写真展 [場所] 三刀屋文化体育館「アスパル」 [時間] 9:00～17:00 9日(日) [0:00～11:00 [結城文ミニ講演会 [「平和のためにできること」 [
10月	8日(月) 体育の日 [第12回永井隆記念賞明石高原平和ロードレース大会 [場所] 明石緑が丘公園 (三刀屋町坂本) [時間] 10:30～ [
	26日(土)	ヒューマンフェスタ2007 場所 三刀屋文化体育館「アスパル」 時間 10:00～16:00 [内容] ①人権啓発ポスターコンクール表彰式 [②記念講演 [講師:蓮池透さん [(拉致被害者家族連絡会副代表) [③キャラクターショー [『それいけ!アンパンマンショー』 [④フリーマーケットなど [
	29日(月)	平和コンサート「カヤノのためのエレジー」 場所 三刀屋文化体育館「アスパル」 [時間] 開場15:30 開演16:00 [内容] 歌、詩朗読、器楽伴奏、映像による公演 [

ボランティアスタッフ募集

『ヒューマンフェスタ2007』の運営に協力していただけるボランティアスタッフを募集します。申し込み・問い合わせは雲南市人権センター [☎0854-42-1767] まで。ベ

お盆前の週末、車を運転していると道路に横たわる黒い物体を発見。何かと違って近づくと人が倒れています。あわてて車から降りて駆け寄ると、80歳になるうかというおばあさん。「買物に行ったら帰りに転びました」と言ってもののち上がる事ができません。熱中症でしょうか?家が近所で、名前や家の場所をはっきり口にされたので、妻や姉妹と協力して自宅に送っていきましたが、良かったのでしょうか?人が倒れているところに通りかかると初めてで、どうしたものか戸惑いましたが、何もせずに通り過ぎるわけにもいかず。救急車を呼ぶべきだったか?警察を呼んだほうがよかったのでは?などと後になって色々考えます。「気温が30℃を超えた」などと報じられる、猛暑日が続いています。同時に、高速道路での追突事故や水難事故なども聞かれます。体調管理や事故防止に心がけたいものです。近

編

集後記

季節ごよみ お盆の夜に



8月15日、加茂町の古大寺盆踊り。子どもから老年寄りまで、お盆で帰省している人も交えて盛大に開催されました。る

・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。ら
・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで! ら

政策企画部 情報政策課

unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口, 44,890人, 男性・21,655人
世帯数 13,613世帯 女性・23,235人
(平成19年8月1日現在)